竹谷出展

IZURU TAKEYA EXHIBITION

眼歩く 2025

2025.11 北陸

2026年4月7日[火]ー6月7日[日] 開苑時間：9時ー17時　入場無料

休苑日：月曜日　※月曜日が祝休日の場合は、その翌平日　※年末年始(12月29日〜1月3日)

碧南市哲学たいけん村無我苑 瞑想回廊 〒447-008 愛知県碧南市坂口町3丁目100番地 Tel.0566-41-8522　主催：碧南市・碧南市教育委員会

MUGAEN

120-1-26　台北　（新聞紙、フォトエマルジョン）

竹谷 出展

IZURU TAKEYA EXHIBITION　Eyes on the Move

眼 歩く 2025

2026年4月7日［火］－6月7日［日］

開苑時間：9時 ―17時　入場無料　休苑日：月曜日

※月曜日が祝休日の場合は、その翌平日　※年末年始（12月29日～1月3日）

2025年の1年間に、撮影し、試し焼きをした印画紙 約1800点を展示します。

約200本の白黒フィルムで日本と台湾のあちこちを撮り歩きました。
帰宅後、フィルム現像し、コンタクトシートを作り、
気になるものを選び5×7インチの印画紙にプリントする。
そこからテーマや印画法を考え、作品としての形を探っていく――
そのプロセスの入口にある原石たちと、
それを新聞紙にプリントしたものが今回の展示です。
玉石混淆のモノクロームの海をご覧いただければと思います。

9種類の古典印画法で作った
最終形の作品（過去の作品）も展示します。

プラチナプリント　118-9-25

―― 写真集「眼 歩く 1990-2023」より抜粋 ――

竹谷の写真は、細部まで鮮明で、きめ細かくもあるが、その視点は極めて曖昧であり、竹谷が日本を横断する中で絶えず移り変わっている。繰り返し登場する遠くまで続く道や風景のイメージは、旅の大半である目的地にたどり着くまでの空間を示している。竹谷のメモには場所と日時が記録されているが、彼の写真は明確な場所の記録というよりは、むしろ、道程の記録と言えるだろう。竹谷が日本を旅する中で、意識的あるいは無意識的に撮った写真は、偶発的な出会いを写しており、それらの光景に再び出会うことはできないだろう。竹谷の写真は、日々と季節、そして、地域の風土とそれを構成する生物の流動性との間にある複雑な関係を表現している。

竹谷は一人で日本を放浪しているかもしれないが、孤独感を煽るような写真ではない。停滞した社会には、もはや規定され日課となっている生活がある一方で、竹谷は自由にそれぞれの土地と対話している。岩の造形や一瞬の影の形といった自然現象や、通りすがる人々との出会いであっても、竹谷の写真への衝動は、その瞬間のありのままの光景に接する以上の欲望に駆り立てられていることはない。

鳥取紙　161c ミスミソウ

プロムオイル　12-41-9

かつて、アレクサンドロス大王は最大の勝利を収めた瞬間、征服すべき世界はもう残っていないと嘆いたと言われている。私たちの地球は有限であり、記録できることも限られているという感覚は、確かに不安なものである。ただ、おそらく、アレクサンドロス大王の過ちは、支配するための計画や未来の野望の中に封じ込めることのできる対象としてのみ世界を見ていたことであろう。それとは対照的に、竹谷の写真は、その曖昧さの中にある種の希望を込めている。それらは、はっきりと辿れる出発地や到着地を示してはいないが、しかし、私たちが新鮮な目で絶え間なく変化し続ける世界と出会うための彷徨える視点を照らし出してくれるのだ。

ルーシー・フレミング・ブラウン「私的風景との出会い」

竹谷 出（たけや いずる）　www.takefoto.info

1967	広島生まれ
1989	アフリカ12ヵ国を1年かけて旅したのをきっかけに写真を撮り始める
1991~1998	中国を計7回延べ8か月間旅し、撮影
1996	「路過的人」Passersby　ニコンサロン（東京銀座）
1997~2001	韓国を計11回延べ9か月間旅し、撮影
2002	「路過的人」Passersby 韓国編　ニコンサロン（東京銀座）
2009~2016	「にほんのかけら」Ⅰ～Ⅴ　コニカミノルタプラザ（東京新宿）
2013	「白鳥三丁目アン♀」コニカミノルタプラザ（東京新宿）
2018~2019	「光の庭」Wandering in the light : Photosynthesis ギャラリー冬青（東京中野）
2020	「陰ほとの中」にほんのかけらⅥ ギャラリー冬青（東京中野） 「破光野草図」ギャラリーカメリア（東京銀座）企画・山内舞子 「影泥棒」NICHE GALLERY（東京銀座）企画・アトリエシャテーニュ
2021	「路過的人　Passersby in China 1991-2012」ギャラリー冬青（東京中野）
2022	「かそけきもの」アルビュメン・カリタイプ・サイアノタイプ・カーボンプリント JCII フォトサロン（東京半蔵門） 「モノクローム 2020-2022」ギャラリー冬青（東京中野）
2023	「にほんのかけら Ⅶ - 福島」ギャラリーいわき（福島いわき）
2024	「鼎」ハートフィールドギャラリー（名古屋） 「眼 歩く　Bromoil Print」ギャラリー冬青（東京中野） 「やおよろず」一宮市尾西歴史民俗資料館旧林家住宅（愛知一宮）
2025	「眼 歩く」ギャラリーいわき（福島いわき）
写真集	「にほんのかけら」Wandering in Japan　冬青社　2017 「影泥棒」Shadow Thief 99 Profiles　冬青社　2020 「眼 歩く Eyes on the Move 1990-2023」冬青社　2024
コレクション	東京都写真美術館　清里フォトアートミュージアム

Event ワークショップ

青写真（サイアノタイプ）を作ってみよう！

4月25日（土）10:00～11:30

定員：約10人　**参加費**：1,000円

申込方法：3月12日（木）午前10時から3月18日（水）午後5時までに窓口またはお電話・インターネットにて受付、抽選にて参加者を決定します。定員に満たなかった場合のみ19日から先着順に受付。受講確定の連絡後10日以内に参加費をお支払い下さい。詳しくは無我苑HPをご覧ください

サイアノタイプ　116-32-7

Special Thanks 園部 知江子（ハートフィールドギャラリー）

［電車でお越しの場合］

名鉄三河線「北新川駅」下車（名鉄本線をご利用の方は知立駅で乗り換えてください。JR東海道本線をご利用の方は刈谷駅で乗り換えてください。）「北新川駅」からはタクシー（約7分）かくるくるバス（無料市内循環バス）のご利用が便利です。

◎北新川駅―無我苑間のくるくるバス時刻表（2025年12月25日更新）　**毎日運行**（年末年始除く）・**無料**

来苑のバス（みどりコース）	出発（北新川駅）↓	7：12	8：57	10：28	13：44	17：00
	到着（無我苑）	7：21	9：06	10：41	13：57	17：13
お帰りのバス（あおコース）	出発（無我苑）↓	8：55	12：12	15：30	17：04	18：46
	到着（北新川駅）	9：04	12：25	15：43	17：17	18：59

MUGAEN

碧南市哲学たいけん村無我苑 瞑想回廊

〒447-0087 愛知県碧南市坂口町3丁目100番地
Tel.0566-41-8522　Fax.0566-41-7761　駐車場：約90台（無料）